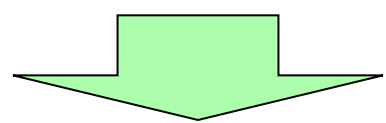


福知山市(近畿圏ブロック)

【計画期間 23年3月～28年3月】

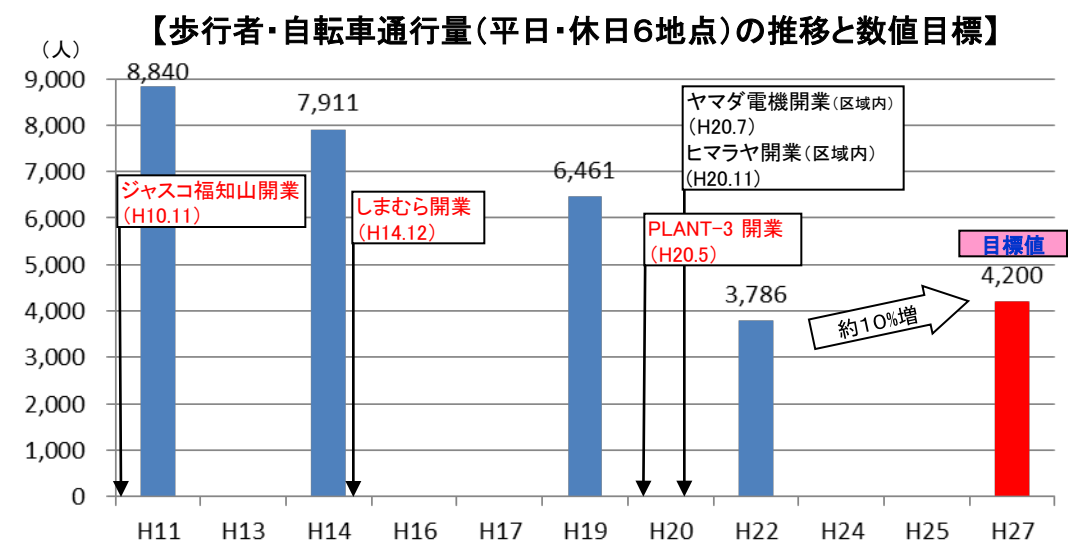
・安土桃山時代～：明智光秀による福知山城の築城以来、江戸期を通じて城下町として栄えた。
 ・昭和～：戦後、内陸型工業団地として長田野工業団地が完成し、産業発展の基盤を形成するとともに北近畿観光の玄関口として鉄道等が充実。

- 周辺市町に郊外型大型店舗の出店攻勢が続き商圈が縮小。
- まちなかに潜在する歴史的・文化的資源を十分活用できていない。
- 鉄道連続立体交差事業、駅前土地区画整理事業等により都市基盤施設が整備されつつある。



- 歩行者・自転車通行量[休日・平日平均]
 H11:8,840人→H22:3,786人(▲57.2%)
- 観光・文化施設の利用者
 H11:67,829人→H21:70,855人(4%)

目標	指標	現況値	目標値(H27)
人・もの・情報が集まり、誰もが楽しく快適に暮らせるまち	歩行者・自転車通行量(6地点)(休日・平日平均)	3,786人/日(H22)	4,200人/日
まちなか観光による人々が集う賑わいあるまち	観光・文化施設(7施設)の利用者	70,855人/年(H21)	78,000人/年



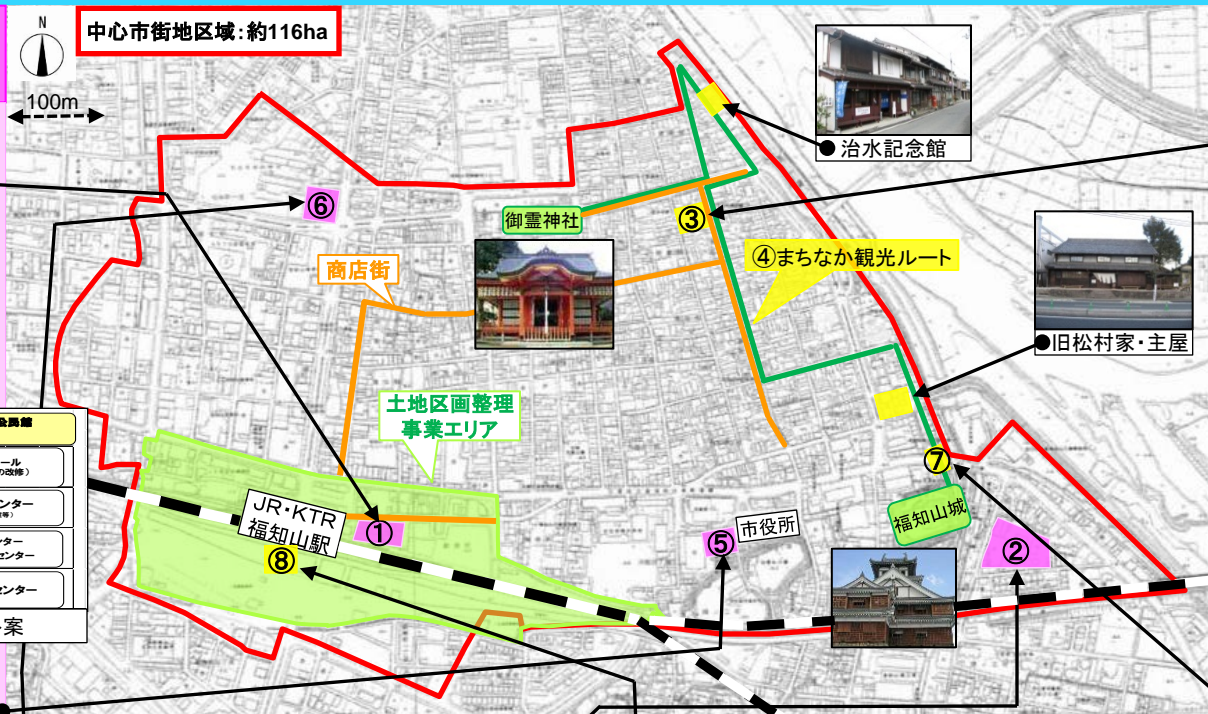
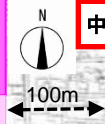
■都市基盤整備の成果をベースに公共複合施設の整備、賑わい拠点の創出、集合住宅の建設等、人々が楽しく快適に暮らせるまちを目指す。
 ⇒主要事業:①「(仮称)市民交流プラザふくちやま」建設事業、②福知山城周辺賑わい創出施設整備事業、など

■ハード・ソフト両面から「まちなか観光ルート」を充実させ、人々が集う賑わいあるまちを目指す。
 ⇒主要事業:③福知山鉄道館ポップランドグレートアップ事業、④「町はまるごと博物館」まちなか観光推進事業、など

福知山市中心市街地活性化基本計画の事業概要

人・もの・情報が集まり、誰もが楽しく快適に暮らせるまち

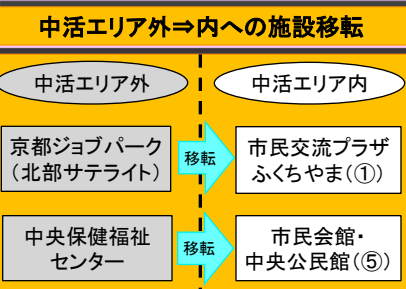
中心市街地地域：約116ha



○(仮称)市民交流プラザふくちやま建設事業(①)
駅前土地区画整理地内に市民の新たな交流空間として図書館、ジョブパーク等で構成される公共複合施設を建設する。

 <p>イメージパース</p>	<p>市商會館・中央公民館改修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 小規模多目的ホール (舞台・照明・椅子等の改修) 男女共同参画センター (事務室・会議室・研修室等) 中央保健福祉センター・障害者生活支援センター 中央保健福祉センター
	<p>レイアウト案</p>

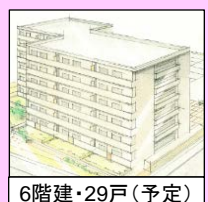
○市民会館・中央公民館改修事業(⑤)
老朽化した設備改修等にあわせ、現在中心市街地エリア外にある中央保健福祉センターを本施設内に移転し、保健福祉の相談窓口、相談機能を集約・充実させる。



○福知山城周辺賑わい創出施設整備事業(②)
福知山城を臨む立地条件にある市民プール跡地に、新たな賑わい拠点として魅力ある飲食・物販・イベント広場等のテナントミックス事業を展開する。



○福知山消防署跡地活用・集合住宅建設事業(⑥)
消防署の移転改築に伴う跡地活用として、集合住宅を建設する。



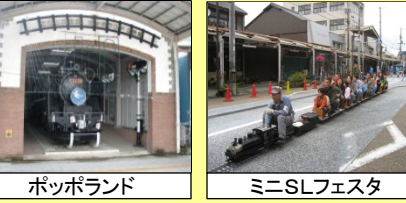
○オープンミュージアム『町はまると博物館』まちなか観光推進事業(④)
・まちなかに残る歴史的建造物の施設改修を行い、建物内の公開や展示を行う。
・JR西日本と連携し実施しているガイド付きまち歩きツアーを拡充。



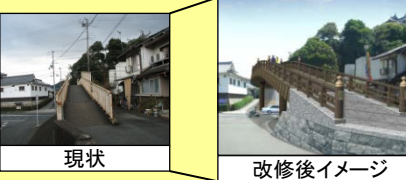
○福知山駅観光インフォメーションセンター機能充実事業(⑧)
若年層を対象とした駅北口公園の広場でのイベントや飲食店の情報発信、観光施設との連携強化を進める。

まちなか観光による人々が集う賑わいあるまち

○福知山鉄道館ホップランドグレードアップ事業(③)
「鉄道のまち福知山」をアピールする拠点施設の主力展示品・Nゲージ模型のリニューアルを中心に乗車会等の各種イベントを定期的開催し、集客強化をはかる。



○内記一丁目線整備事業(⑦)
福知山城からまちなかへと観光客を誘導する仕掛けとして、城をイメージした歩道橋に改修整備する。



○まちなか観光『光秀・ひろこさん手形』発行事業
中心市街地内の加盟店で飲食・買物をした場合に、有料観光施設の入館料減免等を行う手形を発行。